

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(9/9)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区 (南アルプス市)	正	1.9	2.2 進捗度 ・周遊観光入込 69% ・交流人口 61% ・エネルギー自給率 195% 等	2.2 規制の特例等 ・農振法及び農地法に係る協議・許可等の効率化	1.5	<p>・「株南アルプスプロデュース」の経営不振・営業停止が大きな影を投げかけている。そもそも規制の特例措置が破たんした「南アルプス完熟農園」建設用地の農振除外のみであり、同施設による果実の加工・販売と交流人口確保が当該計画の中心であったために、計画全体について成果を出せる状況にないのが現状である。特にこれまで好調であった周遊観光客も大幅な減少となっている。当初の計画は頓挫しており、根本的な再考が求められる。今後の新たな計画に期待したい。</p> <p>・上記事業に依存していないエネルギー自給率は、非常に高い成果を見せており、高く評価したい。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)